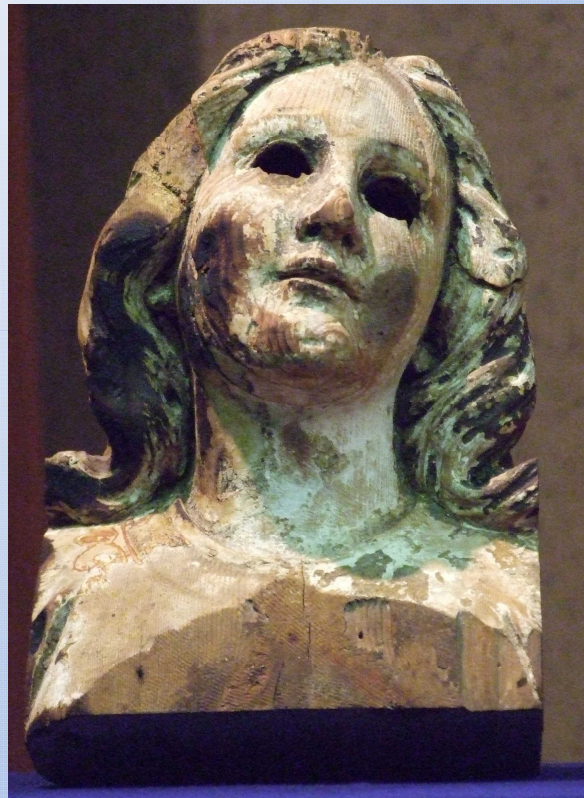


2013年10月13日



世界マリアニスト祈りの日



被爆マリア小聖堂

日本、長崎

Conseil Mondial de la Famille Marianiste – World Council of Marianist Family – Consejo Mundial de la Familia Marianista

日本のマリアニスト家族に特別に感謝しています!



1. 日本におけるキリスト教の始まり



イエズス会の偉大な宣教師フランシスコ・ザビエルが日本に上陸した1549年当時、日本は66の領国が群雄割拠し一つの国を形成して互いに争いを続けていました。ザビエルが日本を去った1551年、キリスト教信者の数は数名の領主を含めて2,000人に及んでいました。布教活動は勢いを増し、多数の改宗者を得るのに伴って学校や教会が建設されました。

しかしながら 1587 年、伴天連追放令の発布によってキリシタン弾圧が始まりました。カタコンベの時代です。1597 年 2 月 5 日、長崎に於いて、パウロ三木をはじめとして、子供、信者、フランシスコ会修道者を含む 26 名が殉教されました。

1863 年に外国人信者達のために来日したフランス人宣教師プチジャン神父は、2 年後の 1865 年、26 名の殉教者達の子孫に捧げる大浦天主堂を長崎に建立しました。同年、250 年以上に渡り潜伏して信仰を守り続けてきた信者の一団が御子イエスを胸に抱く聖母マリアの像を一目見ようとこの大聖堂にやってきたのです。

2. 被爆者聖母の像及びその教会堂

1873 年、キリシタン禁令が解かれ、信徒達の熱烈な思いによって聖母マリアに捧げる浦上大聖堂の建設が始まりました。数年後の 1900 年にはスペインの Uribarri 大使がムリーヨの「無原罪の御宿り」をモデルとした木製のマリア像を寄進しました。

1945 年 8 月 9 日、長崎に炸裂した原爆により街は破壊され多くの人々が犠牲となりました。爆心地にあった浦上天主堂は完全に破壊されてしまいましたが、2 ヶ月後にトラピスト修道者の野口神父がその瓦礫の中から聖母像の頭部を発見いたしました。野口神父はマリアの御頭を修道院に持ち帰り、平和の恵みがありますようにと祈り続けたのです。1975 年、この像は長崎の街に戻され、被爆マリアの呼び名で崇敬を集めています。



被爆によって顔は焼け焦げ、目を失ったマリア像は、「死の文化」と「いのちの文化」について、「破壊の文化」と「創造の文化」について、また「他者を蔑むこと」と「他者を尊重すること」について、我々に問いかけています。また興味深いことに、聖母像は母性の慈悲と赦しの眼差しをしています。マリア像自身も戦争の惨禍による傷を負ったわけですが、その姿には憎悪や復讐心に満ちた表情などかけらも見えません。御子イエスのそばに居たマリアは、全ての苦しんでいる人々、及び平和、正義、慈悲の教えに従う人々のそばに居続けます。眼球を失ってもマリアは心の目で私たちを見つめ、イエスが世界や人間に対して持つのと同じ思いを私たちにも共有して欲しいと訴えておられるのです。

3. 日本の現状 — 一つの事実：あの津波



2011年3月11日、巨大地震発生による津波が日本の東北地方を襲い、全く予想されていなかった甚大な被害をもたらしました。この災害により25,000人の方が亡くなり、今日現在でもなお3,000人の方が行方不明です。福島原子力発電所事故は大惨事となり、東北地方のみならず日本全国がパニックに陥りました。放射能汚染の除去には少なくとも25年を要します。この事実は、他者や自然を尊重することのないエネルギー及び科学技術の利用、また経済的利益などの問題に関して、我々に疑問を投げかけています。マリアは、広島や長崎のような惨禍を通じて、我々の願いに耳を傾け解決方法を探す努力をしていくよう願っているのです。

4. 日本におけるマリアニストの生活及びビジョン

マリア会

マリア会の日本渡来125周年記念を祝いたしたいと思います。マリア会の存在は、日本における宣教活動、特に青少年のカトリック教育に於いて有意義なものでありました。現在は、2名のアメリカ人を含む34名の会員で構成されています。四つの教育事業体があり、そのうち3カ所は100年の伝統を持つに至りました。また、我々はまた一つの小教区を有し既に25年間続いています。

そして私たちは新しい歴史を刻もうとしています。数名のベトナム人の志願者を迎えようとしています。2012年の総会決議に従って、アジアにおけるマリア会の再構築も行っているところです。本年度のスローガンは：〈〈飛翔〉〉です。

信徒マリアニスト共同体

信徒マリアニスト共同体の歴史は1979年に遡ります。1990年代、殊に1997年に正式に組織化されました。現在128名のメンバーにより14の信徒共同体で構成されています。月例集会に加え、フィリピンやインド・ランチーの最貧層社会への経済援助を行っています。

先頃、調布で北東アジアマリアニスト家族評議会が開催されました。大変に実りのある会となり、韓国のMLCの皆様のおかげで、より高い意欲と勇気が湧きました。私たちは世界マリアニストの祈りの日を祝し、ここ長崎に於いて、マリアニストの信徒の召命を再認識し、思いを新たにしたいと思います。

アリアンス・マリアル

日本には、社会の真っ只中のごく密やかに、しかし、マリアニスト精神にあふれ強い宣教使命に燃えたアリアンス・マリアル会員が1名います。彼女は、日本に於いて苦難に直面している人達と、自分の信仰、日々の営み、祈りを共にしています。

汚れなきマリア修道会

第二次世界大戦以来、価値観の転倒、精神的な混沌、物質的なもろさが日本社会を覆っていました。ローマ教皇ピオ 12 世は教会と修道会に宣教師を派遣するよう要請しました。この招きに応え、シスター・アランザスとシスター・マリア・イニヤスの 2 名がスペインを発ち、1949 年 9 月 21 日に日本に到着し、神代村（現・調布市）で生活しながら、ここに女性のマリアニスト修道生活を創立しました。今日、日本管区の会員は 52 名です。晃華学園は幼稚園から高等学校までの教育を行なっています。その他、会員たちは、黙想の家、小教区、信仰教育において働き、また、正義と平和の運動への参加に加えて、津波の被害に遭った人々への援助活動のような社会活動にも奉仕しています。

日本管区は韓国の汚れなきマリア修道会の設立にも参加しました。現在は将来修道女を目指すベトナムからの志願者を迎え、また近い将来、ベトナムに汚れなきマリア修道会の設立を目指しています。

日本におけるマリアニスト家族が成長するにあたっての課題

日本に於けるマリアニスト家族の発展のために、我々は次のことに注力していきます：

- ◇ マリアニストのカリスマを心底から自分のものとする
- ◇ マリアニストのカリスマを他者に伝える能力を学ぶ
- ◇ 新しいメンバーや青年にマリアニストとして新しい生き方を示す
- ◇ 共同の空間を持つこと：マリアニスト家族の会合や懇親の場となるセンターを持つ



5. 共同祈願の意向

1. 聖母マリアとシャミナード神父のように、私たちの信仰、希望、愛が、平和、和解、被造物の尊重、また最も貧しい人達や苦しむ人達への心遣いと尊敬という実を結びますように。
2. 日本で 2011 年に起きた津波被害者と福島で被爆した人達のため。
3. 科学技術の責任と分別ある使用のため。
4. 自然資源の責任ある正しい活用のために。
5. アジアの教会に必要とされるものが与えられますように。
6. 日本とアジアのマリアニスト家族に召命が生まれますように。



現在の浦上大聖堂